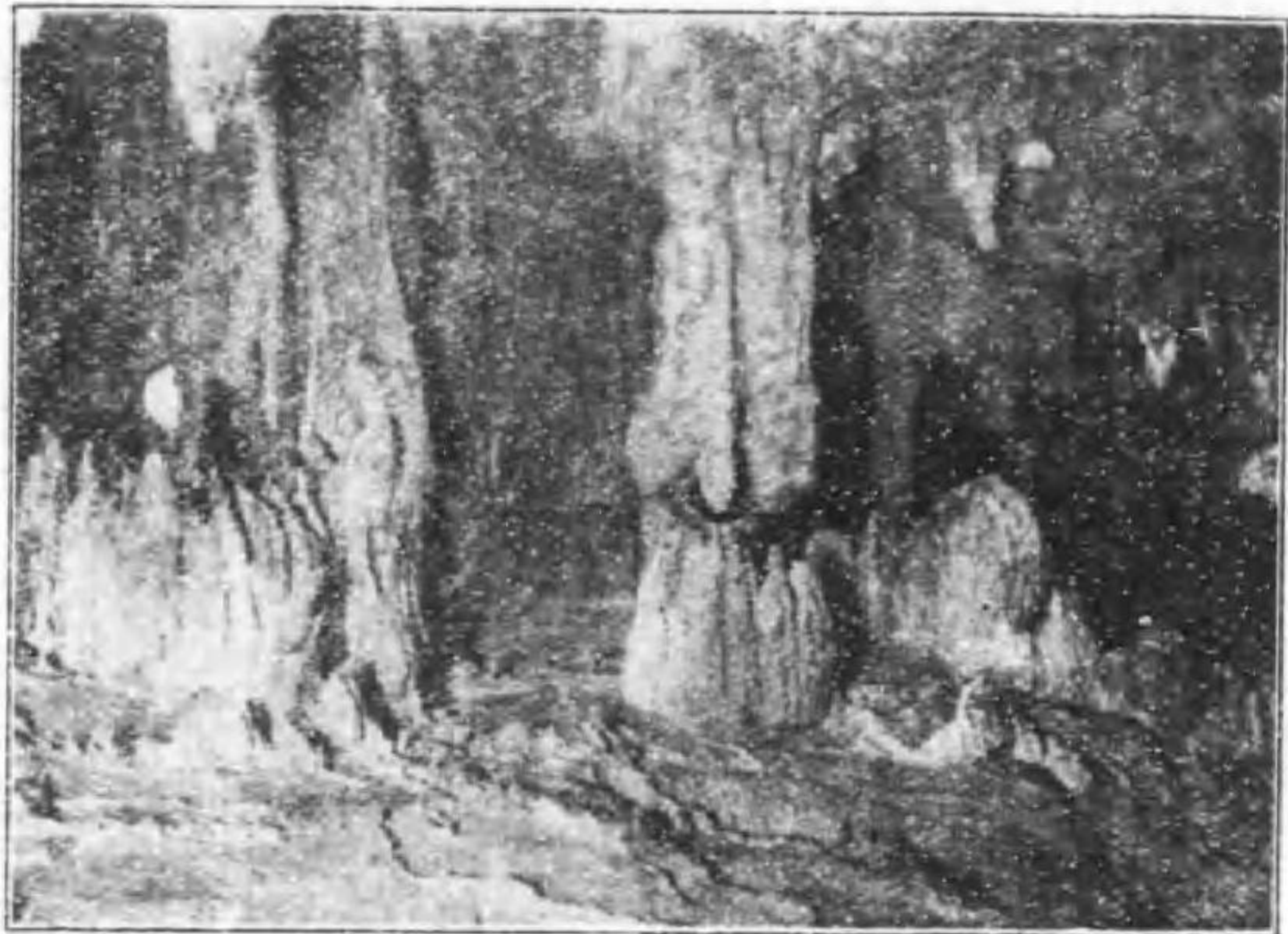


龍 申

岩石の起伏してゐるさまは、よくこの室戸岬に似通つてゐる。

龍 河 洞



車中縣内の名勝地についてお尋ねすると、

赤榕、蒲葵、たぶ等の熱帯植物が繁茂してゐる。頂上には、大師の遺蹟金剛福寺もあれば又燈臺もある。龍申の名勝や、珊瑚の名産地月灘も、ともに足摺岬に程近い。歸つて繪葉書について、くはしいお話をすることにせう。」

とおつしやつた。

午後四時惜しい眺めを後に再び自動車で歸り途についた。



たれさ見發で内洞 器土の代古

龍 河 洞

「それでは土讃線の沿線の龍河洞からお話をせう。龍河洞は、土佐山田驛から大板行の省営バスに乗りかへて談議所で下り東へ約三キロメートル、佐古村逆川にある石灰洞である。或は廣く、或は狭く、川あり、瀧あり、橋あり、鐘乳石、石筍は、すだれの如く、尖塔の如く、くらげの如く、變化きはまりなく、まことに天下の奇觀である。今では文部省より史蹟天然記念物の指定を受けてゐる。出口に近く太古住民穴居の跡、神代窟がある。こゝから二十八個の古代の土器や、貝殻や、骨片などが發見されたさうである。殊に鐘乳石にまき込まれた壺があるが、こんなのは世界に例がないさうである。

大 杉

次は大杉驛近くの大杉だ。文部省より天然記念物に指定された大小二本の老樹が空高くそびえてゐるのは驛からでも見える。大きい方は、周り十七メートル、高さ六十四メートル。地面より四

メートルのさころから六本の枝がわかれてゐる。その一本でさへ
周り六メートルに及んでゐる。大ていこれで想像がつくだらう。
樹齡凡そ二千年、日本一だといはれてゐる。

本山・佐川の
櫻

杉の大杉



大杉驛より十五キロメートル程
行つた吉野川の盆地にある本山
町は高岡郡の佐川町と共に櫻の
名所である。大杉驛より吉野川
にそふて下ると、左右の山はい
よく高くけはしくなり、徳島
縣に入つて四國山脈をよこぎる
あたり、兩岸は絶壁となり、水はよごんで滞りなり、所謂大歩危、
小歩危の勝をつくつてゐる。夏の舟下りもよく秋の紅葉もよい。
高知を出て西、高岡・須崎・窪川中村を経て高知縣の西端、宿毛の

大歩危
小歩危
西郡の旅

町に到る沿道にも名所舊蹟が多いがこれはまた、何時かお話をせ
う。
いろくのお話を聞いてゐる間に、もう自動車は電燈の明るい夜
の高知市を走つてゐた。

第二十八 市民の鑑

近森 虎治 先生

世の中には夜を日に繼いで働いても、収入の少ない上に老人子
供が多くて、その日くを過すにも困る人や、病氣のため、又は
失業のための困窮者等憐むべき人が澤山ある。これ等の恵まれな
い家庭の子弟を救ふためにして、全財産を市に寄附せられた、近

昭和元年十
二月生

勉學

森虎治先生は、高知市蓮池町の人である。成長の後高知醫學校に學び、更に東京に遊學して醫術の研究を進め、翌年九月、十九の弱年で醫術開業の免許状を得たが、尙ほ

近森先生肖像



東京に止まつて醫學と獨逸語を學んだ。歸郷して蓮池町で開業したのは明治二十一年であつた。患者に對する親切と、すぐれた腕、けだかい人格は次第に人々に信頼を深め、名聲は日々に高くなつた。特に氣の毒な家庭の病人に就いては無料投薬をしたから、人々は其の情深い事に尊敬を拂つた。當時尙日本の醫學界は遠く獨逸のそれに及ばなかつたから、深い研究をしやうと、明治二十七年彼地に渡り、病理學の權威ウイリ

天職に精進す

ヒヨウ氏に師事した。歸朝の際持ち歸つたレントゲンは、日本に於て稀にみる装置であつたが、それをたゞ廣告に使ふことなく、又高い料金をむさぼることなく、全く醫術研究と社會奉仕の心をもつてしたので、恩恵を受けた人は少くなかつた。

明治四十二年、高知にペストが発生し、最初何病であるかが充分分らなかつた。先生は早くもこの病氣が恐るべきペストであることを確認して、徹底的防疫に盡したので、戦慄すべき病氣が他に傳染せずして終つた。

先生は患者に治療を施す餘暇を利用して深い研究を續けた。其の結果は「黄痘疫研究」「免疫論」「進化論」「生物學現象」「未來の人間」等の立派な著書として發表せられ、尙細菌學雜誌には常に論文を送つて學界に貢献した。特に黄痘疫の研究は最も深く、先生の始められた水銀劑注射の治療法は現代の進歩した醫學からみても最

市政に貢献す

も勝れた方法であるといはれてゐる。
明治四十三年市會議員に當選したが、其の後二十年間勤續し、議長の榮職にあること實に十餘年で、高知市の發展のために力を



近森先生頌德碑

盡された事は非常に大きい。選舉に當つても常に公正であつたといふ。

潮江に轉住せられてからは園藝に親んだが、乞はるるままに診察もした。先生は任侠の精神に富むのみならず深く社會の恩を感じ、如何にしてこれに報いやうかといふことは常に念頭からはなれなかつた。たまく貧困者の子女が充分に食べることも出來ず、學用品も買へず、天賦を伸ばすことの出來ないのを目撃し

救恤事業
寄附財産
一、宅地 一〇六五六圓
二、建物 一七八六一圓
三、株券 四四六九〇圓
計七三三〇七圓

昭和五年六十六才にて歿す
千載不滅

嘉永六年出生

て同情の念にたへず、意を決して全財産七萬三千餘圓の巨額を市に寄附した。時に昭和四年三月である。
高知市會はこの空前の美舉に對し、深い感謝の意をもつて受納し、「近森家恤救蓄積財産管理規程」を定め、其の利子を貧困者子弟に分興することとした。

昭和七年市役所地域内に建立した頌德碑は、先生が社會のために盡された高德を永遠に物語つてゐる。

西内義顯、高野清幸兩氏

西内義顯氏は市小高坂の出身。土佐の風土が養蠶に適してゐるのを認め、大いに先進の地に就いて研究し、桑園を拓いたり、蠶室を造つたり、優良な蠶種を製造して有志者に配布したり、或は養蠶傳習所を設けて多くの修業者を養成し、時には農事改善のため

西内清顯氏肖像



大正十二年歿

高野清幸氏肖像



安政元年生

の團體を組織し、公衆の利益を興した
 ことが實に多い。從來幼稚であつた本
 縣養蠶業をして本邦有数の養蠶縣とし
 たのは氏の功績に待つ所が甚だ大きい。
 大正六年功によつて勅定の藍綬褒賞
 を賜ひ、其の善行を表彰せられ、大正
 十一年攝政宮殿下御來縣に際しては拜
 謁の光榮に浴した。

高野清幸氏は市内旭石井の人である。
 若くして農會の役員や、試験場囑託と
 なり、或は共進會、品評會等の審査員
 となり、農事の改良發達に力をつくし、
 明治二十三年以來は稻作改良について

「種籾鹽水選種法」「短册形苗代」などをすゝめ其の他米麥の良種
 を四方に分配する等本縣産業振興のために寢食を忘れる程であつ
 た。氏は其間、粃磨機を發明し、捕虫器を案出し、除草器を創案
 して、各々特許を得た。現今縣下に廣く使用せられてゐる除草器
 はこれである。

大正七年歿

大日本農會より綠白綬有功章を贈られ、其の他よりの賞状、感
 謝状等は枚舉にいそまがない程である。

第二十九 土佐人

地理と人情

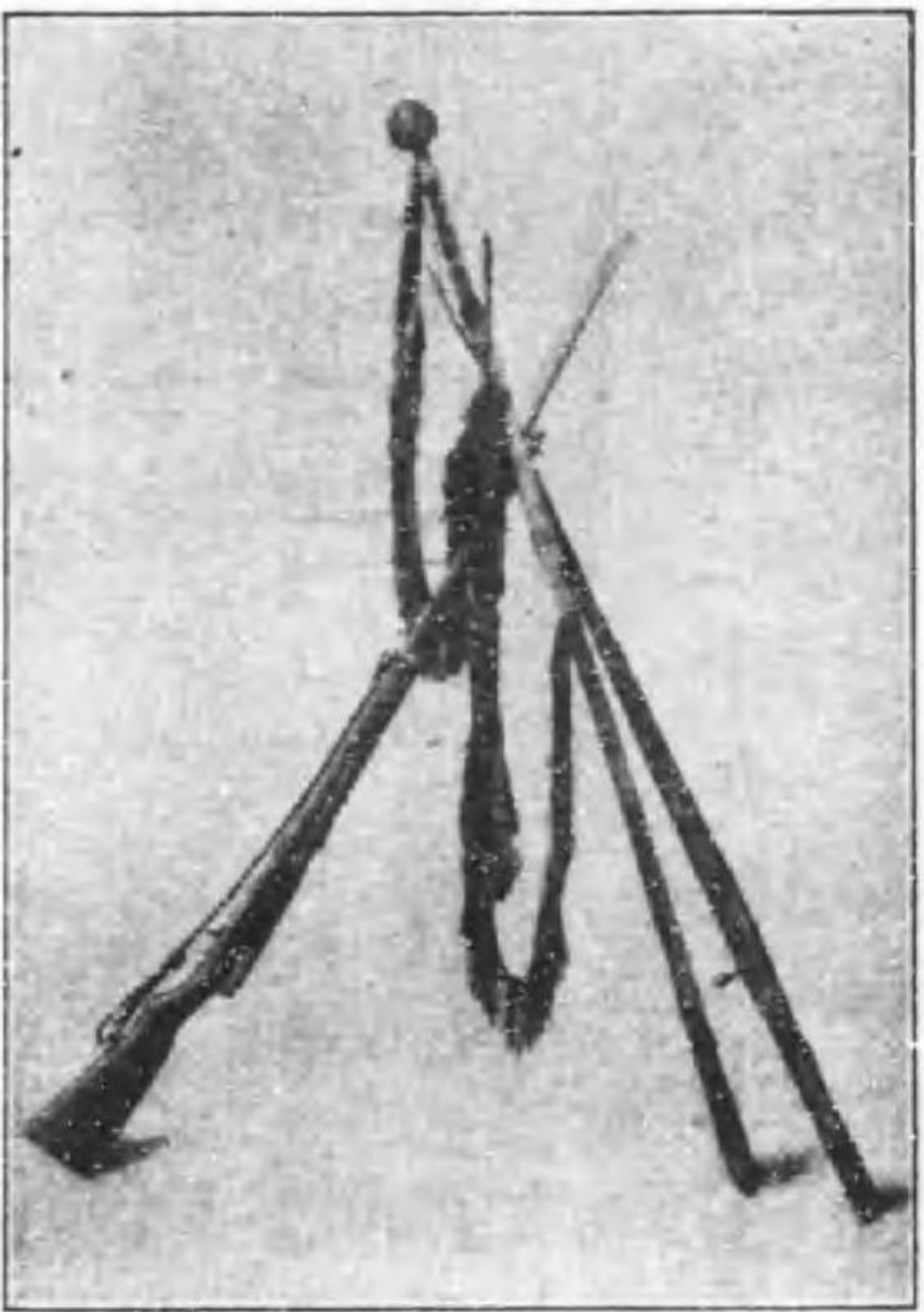
土佐は北境にけはしい四國山脈を負うて、上方に背を向け、南
 は荒い太平洋の外海に面して、縣外との交通はめぐまれて居ない
 が、まして今のやうな立派な道路も開けず、汽車や汽船自動車も

なかつた時代の不便さは思ひやられる。殊に國境には關所があつて、出入の人を嚴重に檢べたから、土佐人と他國との交通は、極めて稀であつた。人は住む國の地理によつても、性質に種々の影響を受けるものであるから、

こんな邊鄙の土地に永住する我々土佐人も、何か特色を持つて居るに相違ない。

まづ長所から考へてみるに、土佐人は剛健であり武勇である。長宗我部元親公が天下をねらつたあの意氣は、土佐人のこの元氣を代表して居る。又これ以來土佐人のこの氣象は益々力を増したところと思はれる。近くは維新の志士はもとより、日露戦役に於て、難攻不落といはれた旅

剛健武勇



名譽ある我等の聯隊旗

正直

淡白公平

順要塞の烈しい攻圍戦に、我が土佐兵歩兵第四十四聯隊の勇戦は、戦史の上に不朽である。今でも土佐の兵隊が、行軍力にすぐれて居ることは評判であるし、最近では運動競技に於て、角力やボートに、或は水泳にテニスに、がんばりの強いことは、土佐人のこの特性の現れであらう。

谷將軍肖像



土佐人は正直ですなほであるともいはれ、或る古書に「土佐は人ばかりでなく、猿まですなほであるから藝をよく覺える。」と書いてあるが、場合によると、中々さうではない。然し陰險でないことは確かだ。淡白であり公平である。山はけはしいが到る處美林をなし、海は荒いが、風景にすぐれ、漁獲に富み、氣候溫暖なこの

樂土に育つた我々土佐人は、いつの間にかこの長所を持つに至つたのであらう。

尊王心

すでに學んだやうに、土佐には昔南學が盛で、土佐人の長所は

島村元帥肖像



益々發揮せられ、次で興つた國學
ごならんで、土佐人に大義名分を
覺らしめた所が多い。これが幕末
維新に美花を咲かせたのであるが、
どうか、「維新の際がその絶頂であ
つた。」とは、いはれたくないもの
である。

言語

言語が明瞭で、雄辯だこの評判もある。なる程ジヂズヅの發音
をよく使ひわけける事などは、殆ど土佐人に限られて居る。しかし、
これは近來よほごあやしくなつて來た。雄辯家が多いとすれば、

辯論

その原因は、言語の明瞭にもよらうが、土佐人の理窟つほい所に
もある。正直で、公平で、きかぬ氣の上佐人は、針の尖程のこ
でも、容易に我が意見を譲らないところから、辯論を好むに至つ
たのであらう。

新思想

邊鄙の土地柄に似ず、新奇を好むくせがある。新説・新思想を受
入れる事がわりあひに早い。これは長所でもあるが、同時にまた
非常な短所でもある。

短氣

すべて長所の反面には、必ず短所を伴ふものである。土佐人が
剛健武勇で、勝を一氣に決する所は長所であるが、一面非常に短
氣である。隱忍持久、最後の勝利に望を置いてたゆまぬといふ、
辛抱強さは、たしかに少いやうである。

不愛嬌

正直の反面は不愛嬌である。深く交はると、追々正直さがわか
ることは、縣外人の觀る所であるけれども、人づきが悪く、世渡り

氣 儘

が下手だとなる、決して長所とはいはれない。公平で、淡白で、理窟つほいから、他人との折れ合ひが悪く、氣まゝで、協同團結の行動が保ち難いといふ短所はないか。幕末

濱口先生肖像



の勤王に際し、これに死んだ土佐人の多数は、同じ土佐藩内の上下の反目、藩の重役と勤王黨との争に基づいたのである。或る歴史家はいつた、「もし薩長を一しよにさせたやうに、土佐が一致してやつたならば、薩長の及ぶ所ではなかつた。互に斬つたり斬られたりした餘りが維新につくした人々だ。もし土佐人が一藩一致でやつたならば、それは偉いことであつたらう。瑞山と東洋と二人が手を握つてやつたら、殆ど天下に敵な

殺 生

結 論

しであつたらうと思ふ。」

土佐人はまた先輩と後輩の間、中央に於ける成功者と、郷里の人々との間のむつみがうすいこの定評がある。これなども双方に折れ合ひのない短所から來るのであらう。

土佐の風俗で、老婆が、腰にあづさの弓を張りながらも、魚釣りの殺生を樂しむことを、他縣人はめづらしがる。他縣の老人がお寺参りを樂しみ、後生を祈るのにくらべて、土佐人は宗教心にとぼしいとも見られる。

まだこの外にもいろくあらう。短所は早く改めなければならぬ。我々は歴史を鑑にして、常に反省し、益々土佐人の誇を發揚すると共に、ひいてはよい日本人となることを、片時も忘れてはならないのである。

市の發展と
都市計畫

第三十 大高知市の建設と我等の使命

政府は大正八年都市計畫法を發布し、先づ六大都市から其の實施を試みだん／＼其の他の都市にも及ぼすことになつてゐる。我が高知市がこの都市計畫の指定を受けたのは大正十五年で、それ以來理想的な計畫を立て、着々と實施してゐる。現在の都市計畫法によれば、市中を住居地域、工業地域、商業地域、に區分し、道路は幹線と補助線に區別を立て、幅二十七メートルの大通より、五五メートルの道路に至るまで、八十二筋の敷設改修が計畫され、近代都市としての面目が將に一新せられやうとしてゐる。

殊に、港湾の修築や、鐵道の開通、航空路の發達などは、これと相俟つて市況は更に一段の繁榮を見ることであらう。

文化施設

教育第一と
新興氣分



興國の氣にもゆるる國祭

本市は他の都市に先んじて、上水道の設置を斷行し、塵芥焼却場を新設して、市民の保險衛生上の設備をこのへ、中央市場と各公設市場を設け、海陸生産物の取引を便にして、一般市民の幸福をはかつてゐることは、實に大なるものがある。

市は更に、學校の増改築に巨萬の資を投じて、教育第一の實を現はし、街路の鋪裝に手をつけて、交通衛生の面目を改めるなど、さかんに土木事業をおこして、大いに新興の氣分を發揮してゐる。下水道の設備をみるのも程近からう。土佐記念館の計畫も亦進んでゐる。大いに土佐の指導精神を明ら

市民の氣品

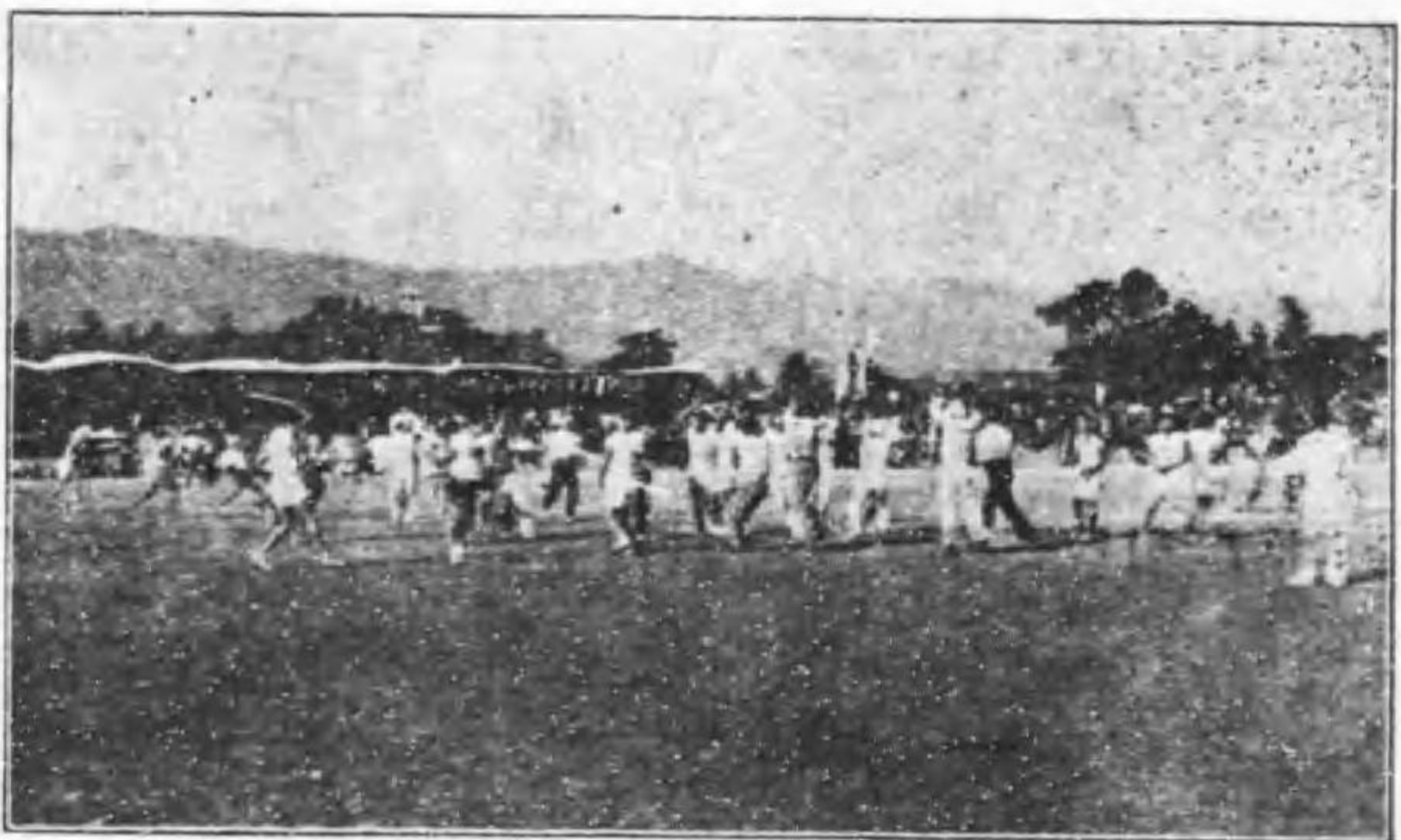
遺風の顯彰

かにして、往年上佐の意氣を、振作することも遠い將來ではあるまい。

市の中央には國寶高知城が、巍然として中空にそびへ、天を摩する老木は、三百年の昔を語るにも似て、春の花、秋の紅葉、と共に市の美觀である。市中を流る、清流鏡川の畔には、維新の元勳山内豊信、豊範兩公を祀る別格官幣社山内神社あり、風光繪の如き、浦戸十景、四季の眺それ、繪となり文となつて、何れも市民の氣品と通ずるところあるは、亦當然のことである。

惟ふに過去幾百年かに亘つて、次第に榮へて來た我が高知市は、やがて我等が背負つて立たねばならぬ郷土である。實に今日の我が高知市は、幾百萬の祖先が絶えざる奮闘努力と、少なからぬ資本によつて築きあげた、貴い結晶であるといつてよい。幾度かの天災地變に泣いたことであらうが、いつも勃々たる興國の念に燃

身心の鍛練



會動運民市るなからがほ

えて現代に及んだのである。光輝ある歴史を持つ我が高知市に聖代の教育を受けつゝある我等は、深く郷土の祖先に對して感謝すること共に、たゞ形式上の完備に満足することなく、祖先傳來の遺風を受けつぎ、以て文化の先驅者となり、あつはれ市民の品位を示さなければならぬ。他の長所を採り入れて己れの短所を補ふことは、向上發展への唯一の道である。質實剛健の精神を承けた我等は、益々その本領を發揮し、常に身心の鍛練に注意しなければならぬ。澄み渡りたる大空の下に、美しい光線を浴びて、思ふ存分大氣を呼吸し、はちきれ

るやうな體に、明朗な氣分の養成につとめなければならぬ。この度今上陛下御大典記念事業として、市設運動場の新設を見たのもこのためである。年々歳々菊香る秋晴の日に市民運動會を催して、上下を論ぜず老若男女、皆打ちつごふて、童心にかへり、協調して、運動を楽しむ有様は、實に高知市そのもの、姿である。

世は相持ち

世は相持ちであるのにもかゝらず、やゝもすると職業に貴賤をつけ、人を卑下する風があるのは封建時代の氣分がぬけない証據で、甚だ間違つた考へである。又成功した郷土の先輩に禮を失し、我意を張つてゆづらない風があるのは甚だ残念である。我意、我利にさらはれて、大局を忘れ、協同一致の行動がとれないといふやうなことがあつては決して大事業は出来ぬ。早く改めなければならぬ。他縣から來た人や外國人などは土地の事情になれないので、特に親切な態度で接したい。これが市民の品格を高むる

産業の工夫

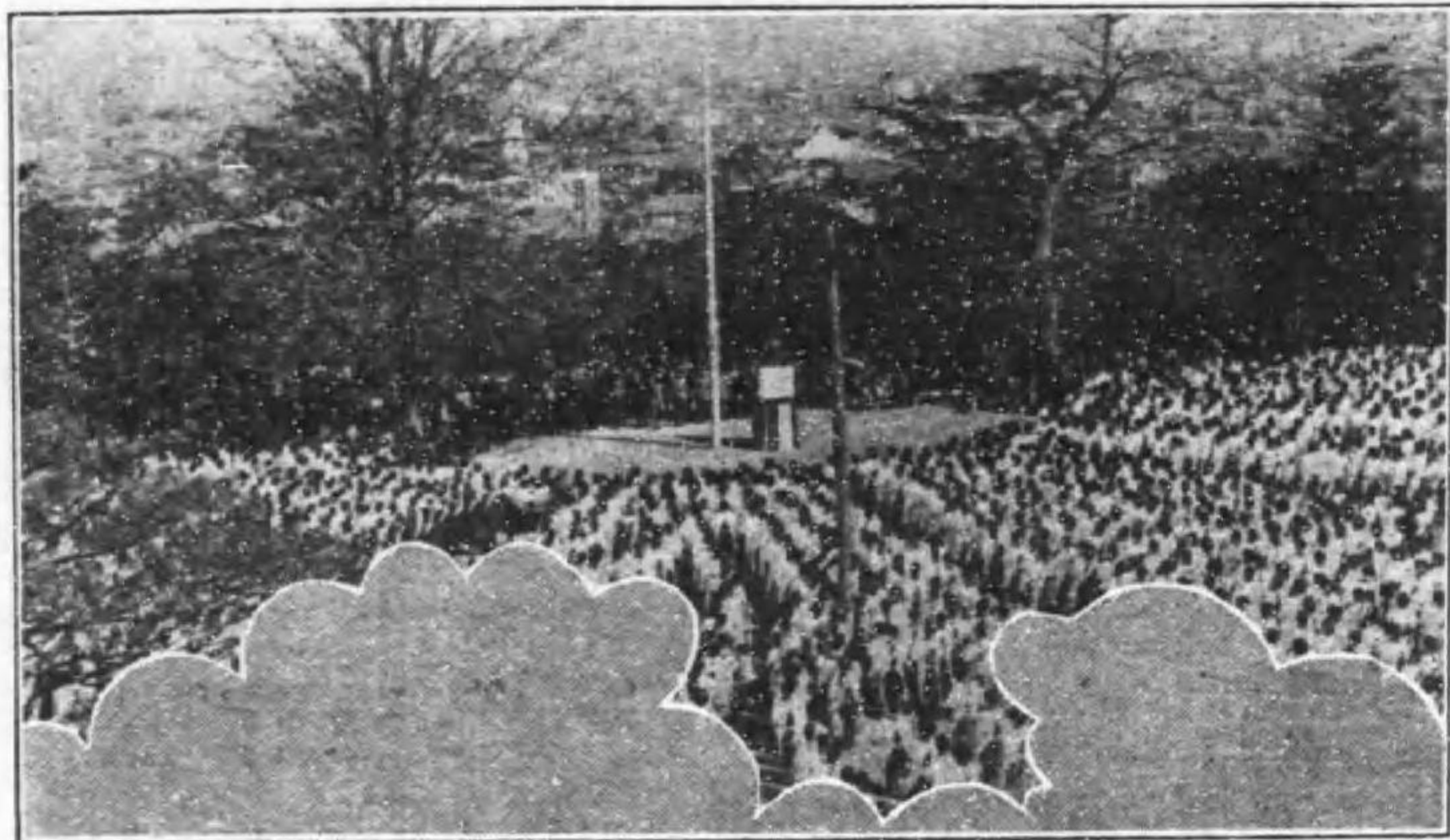
所以である。

交通運輸が発達し人口が年々増加してゐる今日商工業の振興をはかることは最も肝要なことである。良い港を持たぬので商業が発達し難いと即断するのは早すぎる。我が市は經濟的に、資本豊富にまでは、いへないかも知れないが、工業の原動力たる、電力が得易く、平野の中にあつて交通の便を得てゐるし、土地も割合に安價であるから工業に不適は言へない。それにも拘らず概して工業方面の工夫が足りなかつたのは實に残念である。

七轉八起

最近大都市の工場は地方分散の傾向を來たし、當市も各方面より各種の工場建設地として目をつけられつゝある状態であるからこれと相俟つて此の地にふさはしい經營法を立てるやうにしたいと思ふのである。之に就いては上佐人の持つ竹を割つた様な淡泊な氣象は宜しいが、「七轉び八起き」あくまで氣長な粘り強さがな

日進月歩



く衝を天亦も氣意の人婦

ければならない。商業に就いては特に市民の反省が必要である。商機を逸せず、宣傳の方法を工夫し、よく顧客への愛敬を盡すべきで、無作法、無愛嬌、不親切は我等が高知市から一日も早く追はなければならぬ。世は日進月歩して行く、産業方面にも、政治方面にも、又教育方面にも、その他諸般に亘つて、時勢の進運に後れぬ様に改善發達に努力するここが大切である。今や我が高知市は人口十萬を突破し、名實共に四國第一の大都市となつた。我等は、互に相戒

しめ和衷協同して大高知市の建設に貢献するところがなくてはならない。これがなつかしい郷土に對する我等市民の使命であり責務である。

昭和十年三月三十一日印刷
昭和十年四月十日發行

高知讀本

非賣品

不許
複製

發行者

高知市教育會代表者
高知市江ノ口壹貳壹參番地

濱田

稔

印刷者

高知市榊形壹參番屋敷

仁尾

進

印刷所

高知市榊形壹參番屋敷

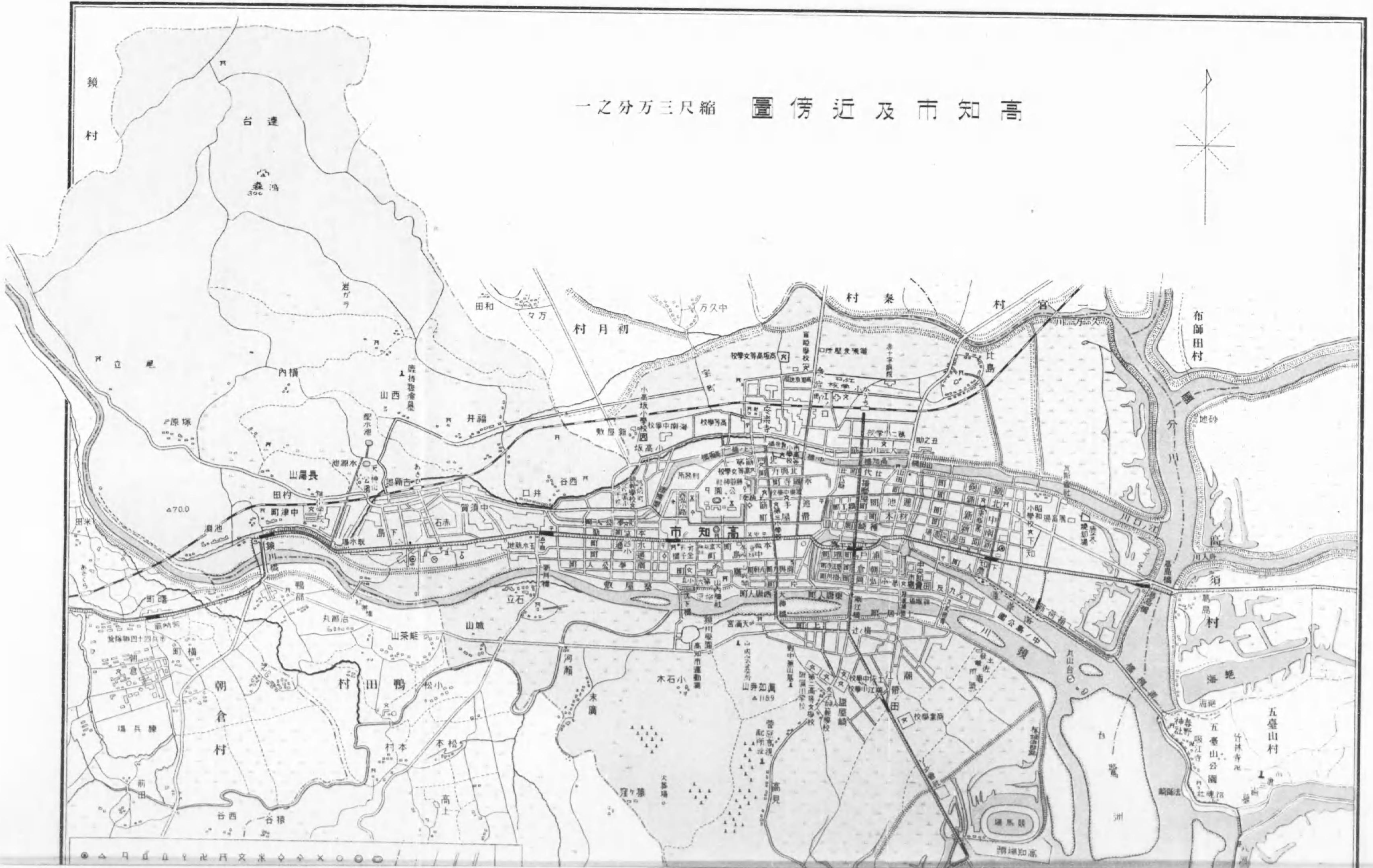
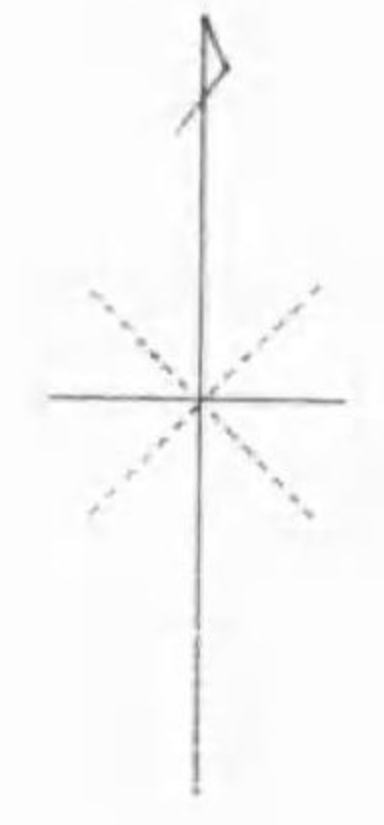
仁尾商店印刷部

高知市役所構内

發行所
高知市教育會

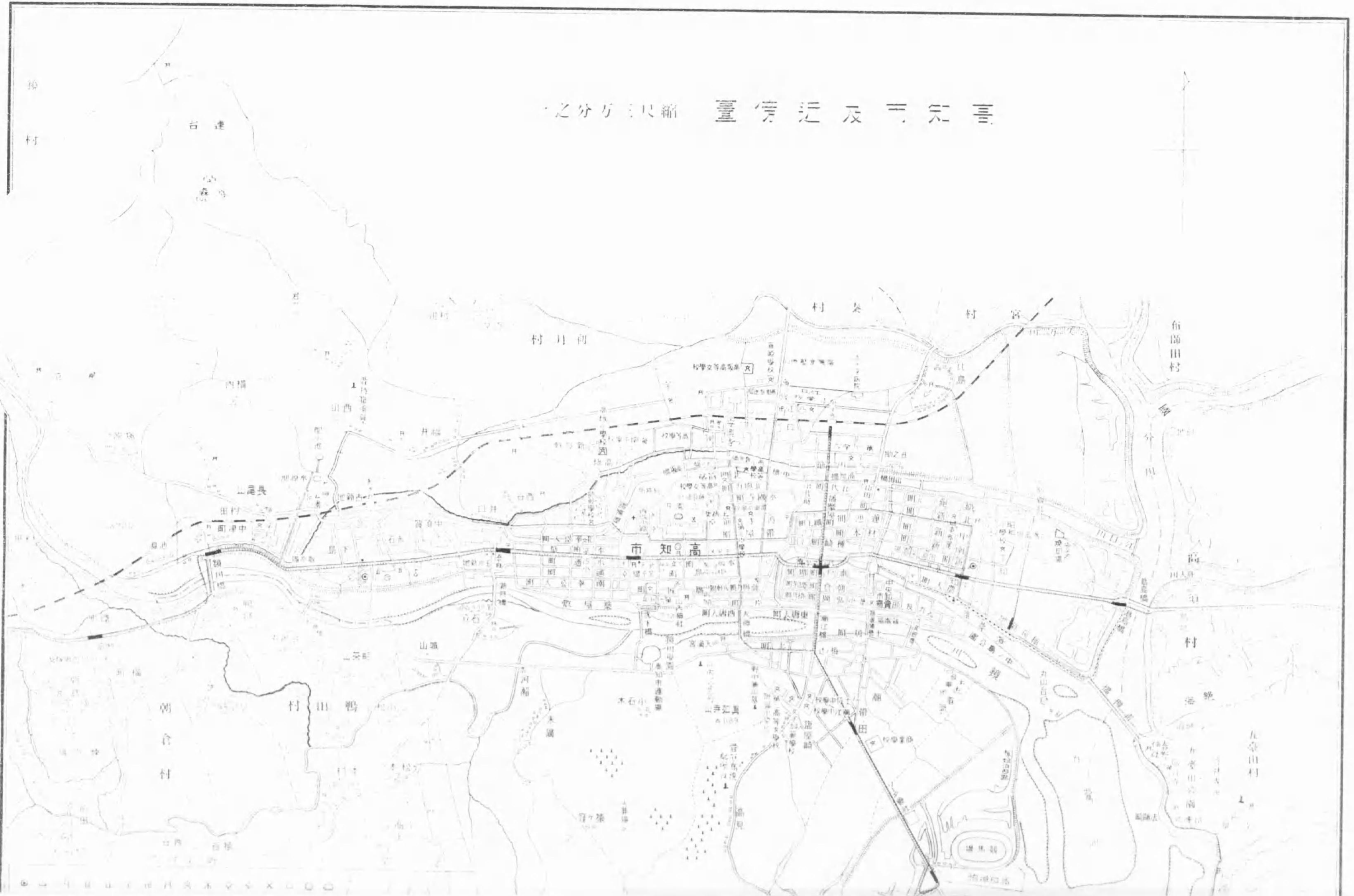
露光量違いの為重複撮影

一之分万三尺縮 圖傍近及市知高



露光量違いの為重複撮影

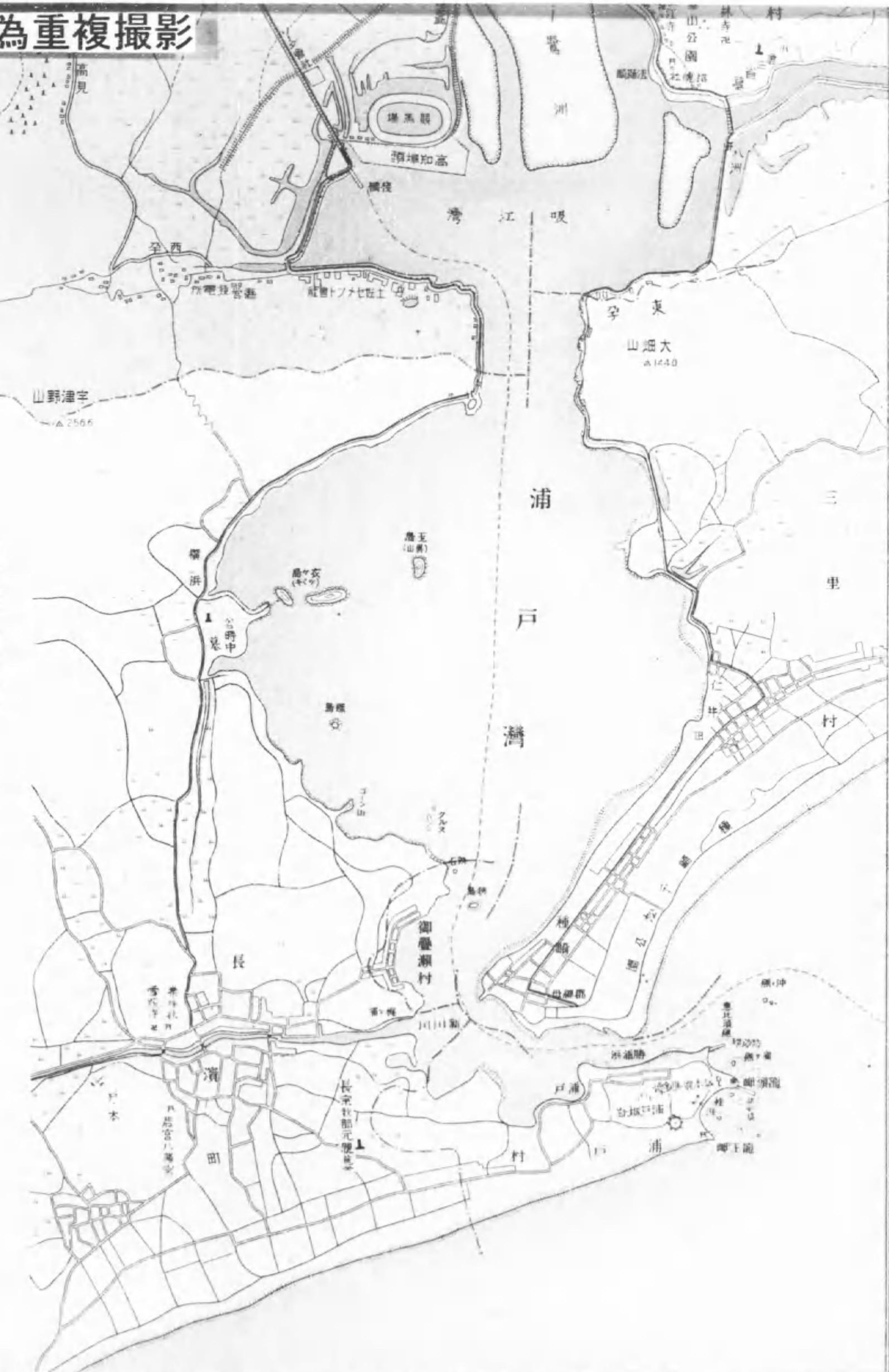
三分の一縮 臺傍近及町知高



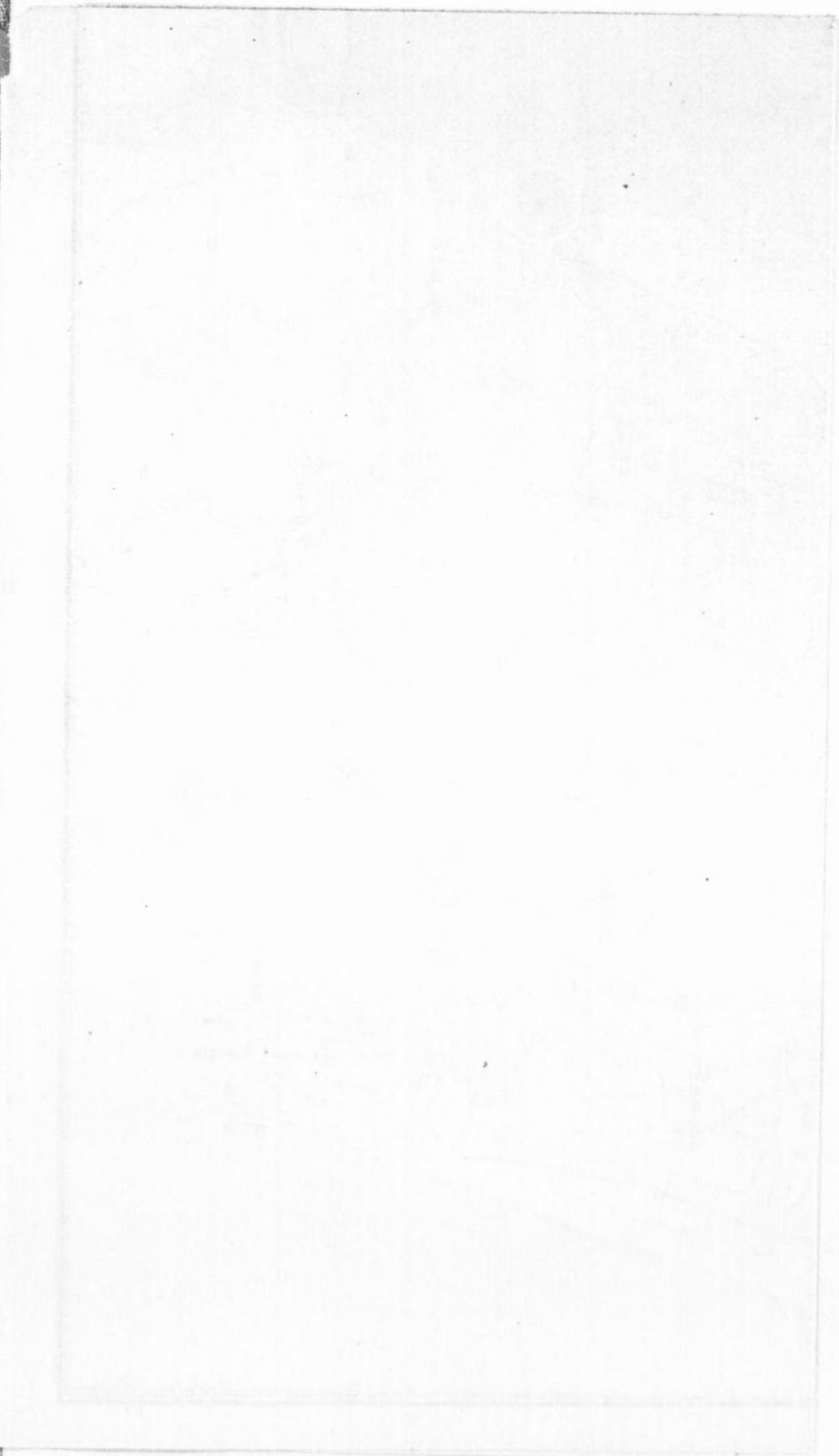
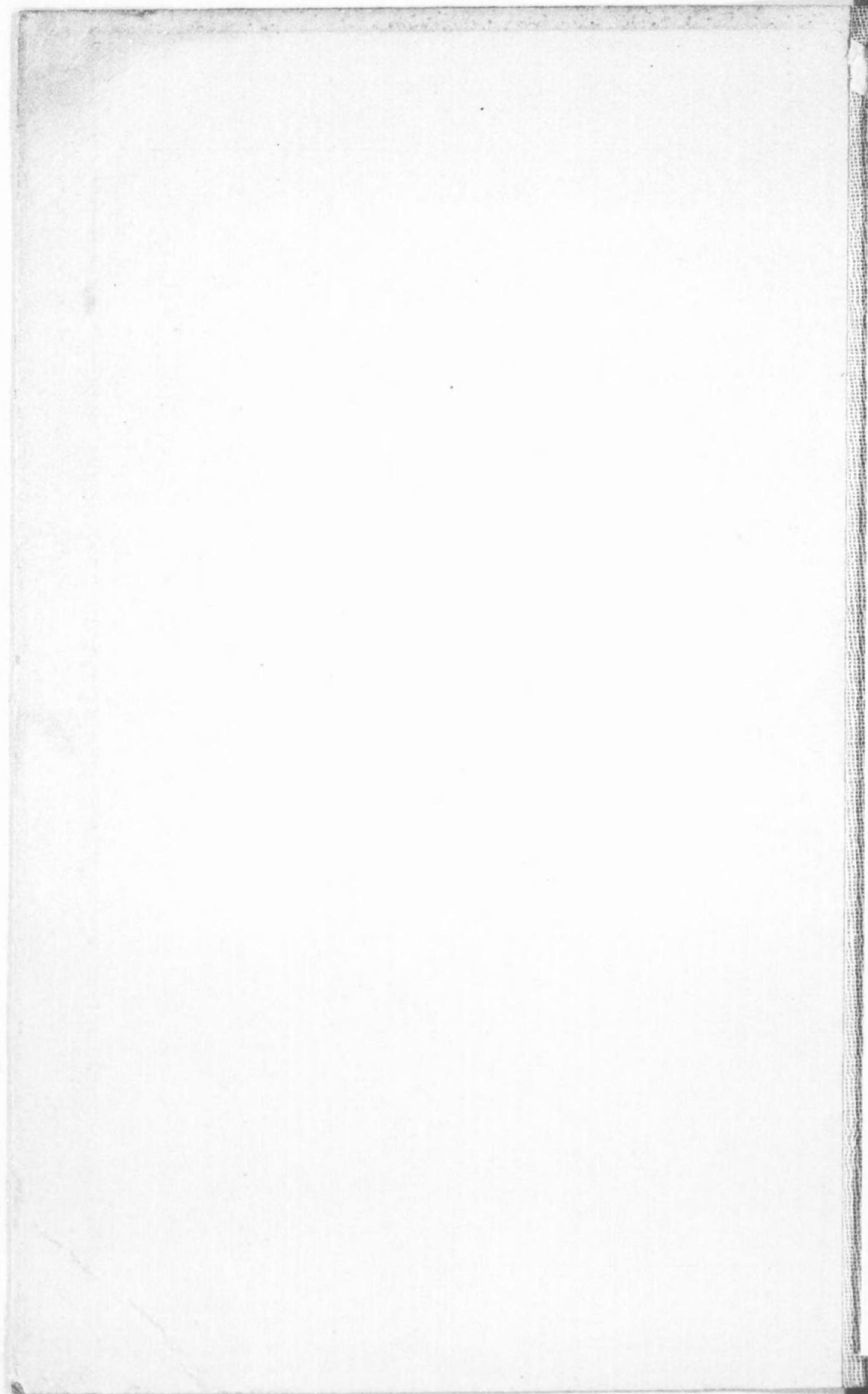
露光量違いの為重複撮影

凡例

◎	△	□	▨	▽	○	◇	×	○	◎	////	///	///	///	///	///	///	///	///
保 育 院	工 業 試 験 所	測 候 所	煙 草 特 許 所	紀 念 碑	銅 像	佛 教 社	神 社	學 校	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館	文 書 館
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
片 倉 敷 線	國 道	縣 道	町 道	村 道	小 道	田 界	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線	界 線



- 一 源 命 殿 一七 紀 島 之 遺 跡
- 二 白 太 夫 神 社 一八 大 本 山 之 櫻
- 三 三 輪 河 一 九 本 山 之 櫻
- 四 月 見 山 二〇 豐 永 養 翁 堂
- 五 手 崎 染 糸 染 屋 二 櫻 木 堂
- 六 八 坂 山 古 剎 三 二 山 川 寺
- 七 瀨 野 大 師 禪 院 三 三 山 川 寺
- 八 伊 澤 本 洞 穴 二 四 大 佛 堂
- 九 殉 難 二 二 泉 二 五 高 山 寺
- 一〇 魚 沼 湖 林 二 六 高 山 寺
- 一一 室 戸 港 二 七 高 山 寺
- 一二 一 室 戸 港 二 七 高 山 寺
- 一三 室 戸 港 二 七 高 山 寺
- 一四 室 戸 港 二 七 高 山 寺
- 一五 室 戸 港 二 七 高 山 寺
- 一六 國 分 寺 三 三 島 寺



終

